



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年1月31日

上場会社名 ディービーエックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3079 URL http://www.dvx.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴崎 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 宮本 聡 TEL 03-5985-6832
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	33,505	11.7	786	5.2	794	4.5	547	△5.3
2019年3月期第3四半期	29,989	4.3	747	△30.7	760	△30.8	577	△16.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	51.90	—
2019年3月期第3四半期	52.19	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,732	7,320	37.1
2019年3月期	18,638	7,461	40.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,317百万円 2019年3月期 7,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期 (予想)				24.00	24.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,948	6.4	871	△29.6	871	△34.6	580	△40.4	55.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3 Q	11,280,000株	2019年3月期	11,280,000株
2020年3月期3 Q	1,002,621株	2019年3月期	452,621株
2020年3月期3 Q	10,549,379株	2019年3月期3 Q	11,072,841株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の通商政策が与える世界経済への影響や、英国のEU離脱問題等による海外情勢の不確実性などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医療機器業界におきましては、2019年10月の消費税増税に伴い、診療報酬の改定が実施され、当社が取り扱う多くの医療機器について保険償還価格の引き下げが行われました。医療機関からは保険償還価格の改定による価格交渉のほか、経営環境改善のため、コスト意識の高まりによる値下げ要請への対応が求められ、引き続き厳しい事業環境への対応が求められる状況となっております。

このような情勢のもと、当社では、販売代理店としては既存顧客の深耕と営業エリアの拡大を進めるとともに、仕入先メーカーとのインセンティブ契約の締結などによる利益率改善にも取り組みました。また、総代理店としては独自商品の販売拡大と新商材の獲得に努めることで、業容の拡大を目指してまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は33,505,340千円（前年同期比11.7%増）、営業利益は786,733千円（前年同期比5.2%増）、経常利益は794,319千円（前年同期比4.5%増）、四半期純利益は547,472千円（前年同期比5.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 不整脈事業

高度な専門性を活かした提案型営業による既存顧客に対するサービスの充実に努めるとともに、新規顧客の開拓にも注力いたしました。その結果、カテーテルアブレーション（心筋焼灼術）治療用カテーテル類や検査用電極カテーテル等の主力商品の販売数量が増加したことから、当第3四半期累計期間の売上高は29,152,928千円（前年同期比9.6%増）、セグメント利益は3,184,430千円（前年同期比1.8%増）となりました。

② 虚血事業

販売代理店としての販売が増加したほか、国内総代理店として取り扱っているエキシマレーザ関連商品の販売が堅調に推移したことから、当第3四半期累計期間の売上高は2,952,339千円（前年同期比22.2%増）、セグメント利益は628,886千円（前年同期比7.6%増）となりました。

③ その他

外科、脳外科関連商品等が好調に推移したほか、自社企画品も堅調に推移していることから、当第3四半期累計期間の売上高は1,400,071千円（前年同期比44.1%増）、セグメント利益は205,215千円（前年同期比57.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ927,063千円増加し、18,138,631千円となりました。これは主に、自己株式の取得等により現金及び預金は919,348千円減少しましたが、業績が好調に推移したことにより、受取手形及び売掛金が1,210,344千円、電子記録債権が345,970千円増加したほか、利益率改善のため特別買取りの実施などにより商品が346,951千円増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ167,485千円増加し、1,594,360千円となりました。これは主に、営業用デモ機、営業用レンタル機の取得により有形固定資産が188,973千円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べ1,094,548千円増加し、19,732,992千円となりました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ1,312,133千円増加し、11,998,757千円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴って買掛金が1,439,445千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ75,864千円減少し、413,994千円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が58,679千円、長期借入金が27,028千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べ1,236,269千円増加し、12,412,752千円となりました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ141,720千円減少し、7,320,240千円となりました。これは主に、四半期純利益により547,472千円増加したものの、自己株式の取得により431,750千円、剰余金の配当により259,857千円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は37.1%（前事業年度末は40.0%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間において、2020年3月期通期の業績予想に対する当第3四半期累計期間の営業利益以下の各段階利益の進捗率が高くなっておりませんが、第3四半期累計期間において未執行であった経費の発生などが見込まれることから、2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月15日公表の「2019年3月期 決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,298,179	4,378,831
受取手形及び売掛金	8,927,457	10,137,801
電子記録債権	1,296,824	1,642,794
商品	1,382,009	1,728,961
その他	308,397	251,742
貸倒引当金	△1,300	△1,500
流動資産合計	17,211,568	18,138,631
固定資産		
有形固定資産	788,543	977,517
無形固定資産	44,206	30,657
投資その他の資産		
投資有価証券	983	-
差入保証金	251,764	251,864
繰延税金資産	290,600	287,900
その他	50,776	48,637
貸倒引当金	-	△2,216
投資その他の資産合計	594,125	586,185
固定資産合計	1,426,875	1,594,360
資産合計	18,638,443	19,732,992
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,807,078	11,246,523
1年内返済予定の長期借入金	55,799	40,362
未払法人税等	308,000	17,000
賞与引当金	222,354	119,943
売上値引引当金	-	182,974
その他	293,392	391,954
流動負債合計	10,686,624	11,998,757
固定負債		
長期借入金	31,205	4,177
退職給付引当金	325,077	334,895
役員退職慰労引当金	125,381	66,702
その他	8,194	8,219
固定負債合計	489,858	413,994
負債合計	11,176,482	12,412,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	7,426,541	7,714,157
自己株式	△624,425	△1,056,175
株主資本合計	7,461,304	7,317,170
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	656	-
評価・換算差額等合計	656	-
新株予約権	-	3,069
純資産合計	7,461,960	7,320,240
負債純資産合計	18,638,443	19,732,992

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	29,989,363	33,505,340
売上原価	26,147,490	29,486,806
売上総利益	3,841,872	4,018,533
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	200	200
給料及び手当	1,076,011	1,113,335
賞与引当金繰入額	104,115	119,943
役員退職慰労引当金繰入額	5,800	5,591
退職給付費用	44,055	44,871
その他	1,864,086	1,947,858
販売費及び一般管理費合計	3,094,268	3,231,799
営業利益	747,604	786,733
営業外収益		
受取利息	356	264
受取保険金	-	7,368
為替差益	6,317	917
デリバティブ評価益	4,874	-
その他	1,182	1,428
営業外収益合計	12,732	9,979
営業外費用		
支払利息	299	176
貸倒引当金繰入額	-	2,216
営業外費用合計	299	2,393
経常利益	760,037	794,319
特別利益		
固定資産売却益	-	648
投資有価証券売却益	21,739	959
特別利益合計	21,739	1,607
特別損失		
固定資産除却損	5,338	1,455
特別損失合計	5,338	1,455
税引前四半期純利益	776,438	794,472
法人税、住民税及び事業税	205,605	244,009
法人税等調整額	△7,061	2,989
法人税等合計	198,544	246,999
四半期純利益	577,893	547,472

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。